

# 親子聖書日課

[日]ホセアはイザヤと同じ頃、北イスラエルで預言しました。不倫の妻の中に、民の姿を見、主の怒りと愛を語ります。不倫相手の間に生まれた子を受け入れるのは難しいでしょう。しかし、主は「受け入れよ」とどんな人も愛せよ、言われました。

[月]民は夫(主)を捨てて、恋人バアル(偶像)を追い求めます。食料、衣服をくれると思ったからです。霊的な事よりも物質を求めました。そんな彼女らを「荒野に導き、心に語りかけ」初めの愛を思い出させるのです。主の愛に触れましょう。

[火]ホセアは「愛せよ」との主の言葉に、夫を捨て、奴隷となった妻を買戻しました。私達も花婿キリストを捨て、罪の奴隷になってはいませんか。主は十字架の血潮で私達を買い取って下さったので、二度と罪の奴隷になってはいけません。

[水]神に愛されながら、民は「神を知ることもない」のです。だから、大変な罪を犯しました。神に背を向けて生活しては、主の愛も赦しも体験できません。「悟りのない民は滅び」ます。今すぐ主の立ち帰るなら、主の深い愛が分かります。

[木]主の裁きは、民を滅ぼし尽くすためのものでなく、彼らが自分の罪を認めて、主の救いを求めるためです。主に打たれる時、心を頑なにせず、悔い改めることが大切です。その時、主は大手を広げてを、私達を受け入れて下さるのです。

[金]主を知るとは、頭の中で理解することではなく、主を畏れ敬うことです。主の喜ばれることは、生涯「主を知ること」を追い求めることです。そのため、み言葉に聴き従いましょう。すると、主がどれほど深く愛して下さっているかが分かります。

[土]「裏返さずに焼かれた菓子」は美味しくありません。片面がこげて、もう一方が生だからです。これは地上の事には熱心でも、天の事には冷たいことを表します。地上の事以上に、天の事に熱くなりましょう。平和が実現することも天の事です。



©fumira

NO.1454 2016.8/7-13

名前

	聖書	問題	答え
日	ホセア 1:1-8	淫行による子らをどうすべきですか。	
月	2:1-25	主は彼女をいざなって荒野に導き、その心をどうしましたか。	
火	3:1-5	夫に愛されていないながら、姦淫する女をどうすべきですか。	
水	4:1-19	悟りのない民はどうなりますか。	
木	5:1-15	彼らが何を認めて、主を尋ね求めるまで、主は立ち去りますか。	
金	6:1-11	何を追い求めるべきですか。	
土	7:1-16	エフライムはどんな菓子となりましたか。	
感想と祈りの課題			

